



令和元年度 青少年健全育成茨城県推進大会

大会概要

- 主催 茨城県
 公益社団法人茨城県青少年育成協会
 青少年育成市町村民会議
- 協賛 ライオンズクラブ国際協会333-E地区
- 日時 令和2年2月5日(水) 13:00 ~ 15:30
- 会場 アダストリアみとアリーナ
- 参加者 市町村民会議関係者 青少年育成関係者
 PTA・学校・保育所・幼稚園関係者、
 県・市町村関係者、一般県民等 約1,500名
- 内容 ○開会行事
 ○中学生の主張発表
 ○パネルディスカッション

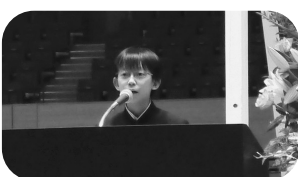
活動助成金贈呈

青少年健全育成県民運動推進のために、ライオンズクラブ国際協会333-E地区(大高宣靖地区ガバナー)から県青少年育成協会に対し多額の活動助成金の贈呈がありました。



中学生の主張発表

令和元年度少年の主張茨城県大会において、優秀な成績を収めた2名の中学生が発表しました。



(左) 筑西市立下館南中学校3年 福田 遥生 さん
 (右) 水戸市立第一中学校1年 井上 巧基 さん

● パネルディスカッション

「初めの一步！孤立ゼロの地域作りを目指して
 ~深めよう 繋がろう~」

【コーディネーター】

茨城県生涯学習・社会教育研究会長 長谷川幸介 氏

【パネリスト】

ひきこもり大学茨城キャンパス 代表 大谷 武郎 氏

NPO法人SMSC／まちキッチンあえる普及委員会
 高島 聖也 氏

茨城県ひきこもり相談支援センター長 浅沼 秀司 氏

令和元年8月27日(火)に、「ひきこもり・不登校」「子どもの貧困」「子ども・若者の居場所づくり」の3つをテーマに開催した「地域を編む孤立0(ゼロ)プロジェクト 合同研修会」について、茨城県PTA連絡協議会の大和田栄事務局長から活動報告を行いました。

この報告に引き続いて行ったパネルディスカッションでは、パネリストの3名が、ひきこもり当事者、地域の活動団体、支援機関、それぞれの立場から意見を出していました。そして、参加者も一緒に議論を交わし、孤立ゼロの地域づくりを目指すためには何ができるのか、今後の支援のあり方について考えました。

会場からは、「力をもらった」「ひきこもりの子を持つ友人に教えたあげたい」という意見があり、地域全体で取り組む必要性を前向きに捉えることができました。

最後に、コーディネーターの長谷川氏から、当協会が先頭に立ち、これらの課題に取り組み、支えていかなければならないと、力強いエールをいただきました。

